



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 特集・東由利町開発基本構想… 2～5
- カメラルポ…………… 8・9
- まちの話題…………… 10・11
- みんなのひろば…………… 12～15



広報

春らんまん
花見そして運動会のシーズン

雪消えの早かった今年は、桜の花が咲くのも例年より4日、昨年より7日早いといわれ、町民いこいの森の桜も5月10日ごろには満開になると予想されています。また5月は小学校などの運動会が各地区で行われ、今年一番のにぎわいを見せることと思われます。農繁期を前に心身共に英気を養いたいものです。(写真・59年大琴小運動会)

5月

ひがしゆり

No. 362

題字 / 佐々木青洋氏(東由利町出身)

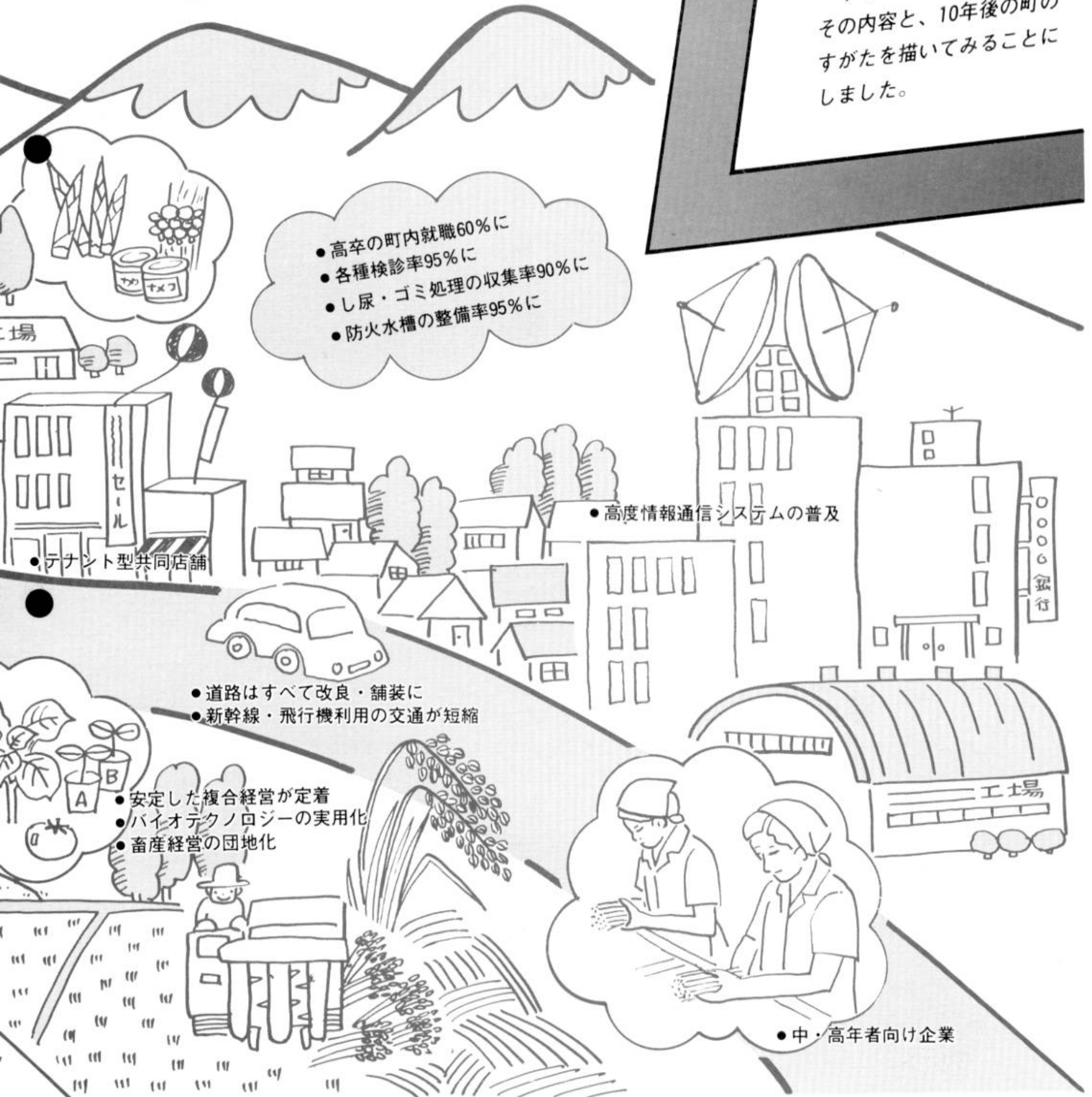
イラストでみる町の未来像

まちは……

- このイラストは「町開発基本構想」に基づいて、一部を描いたものです。

急速な社会変化に伴ない、わたしたちの東由利町も大きく変わります。こうしたなか町では10年後に目標をおき、町発展の方向づけを決めた「東由利町開発基本構想」を策定しました。

今号では4ページにわたりその内容と、10年後の町のすがたを描いてみることにしました。



- 高卒の町内就職60%に
- 各種検診率95%に
- し尿・ゴミ処理の収集率90%に
- 防火水槽の整備率95%に

- 高度情報通信システムの普及

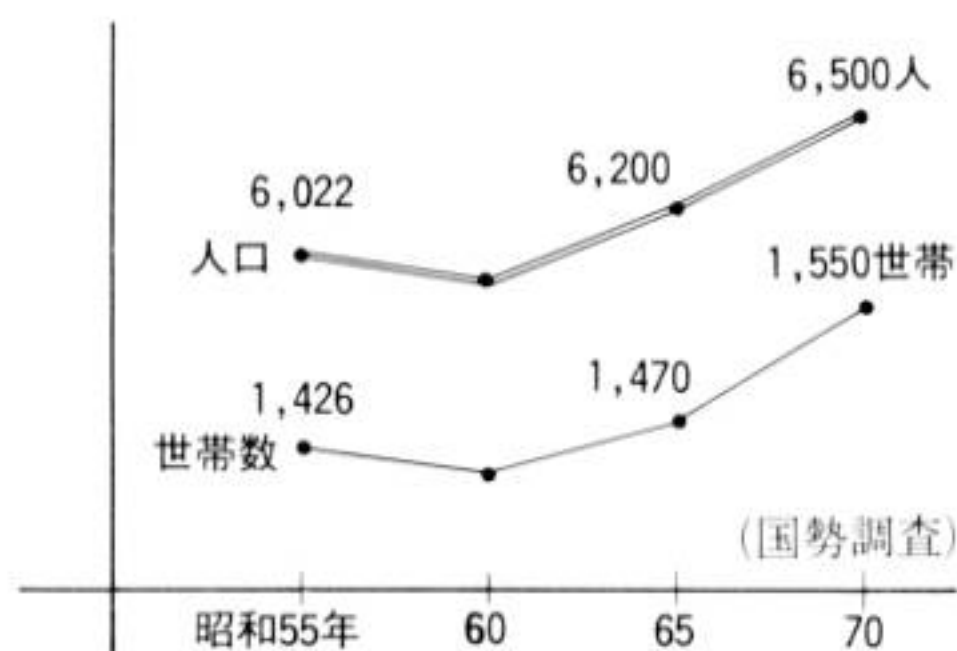
- 道路はすべて改良・舗装に
- 新幹線・飛行機利用の交通が短縮

- 安定した複合経営が定着
- バイオテクノロジーの実用化
- 畜産経営の団地化

- 中・高年者向け企業

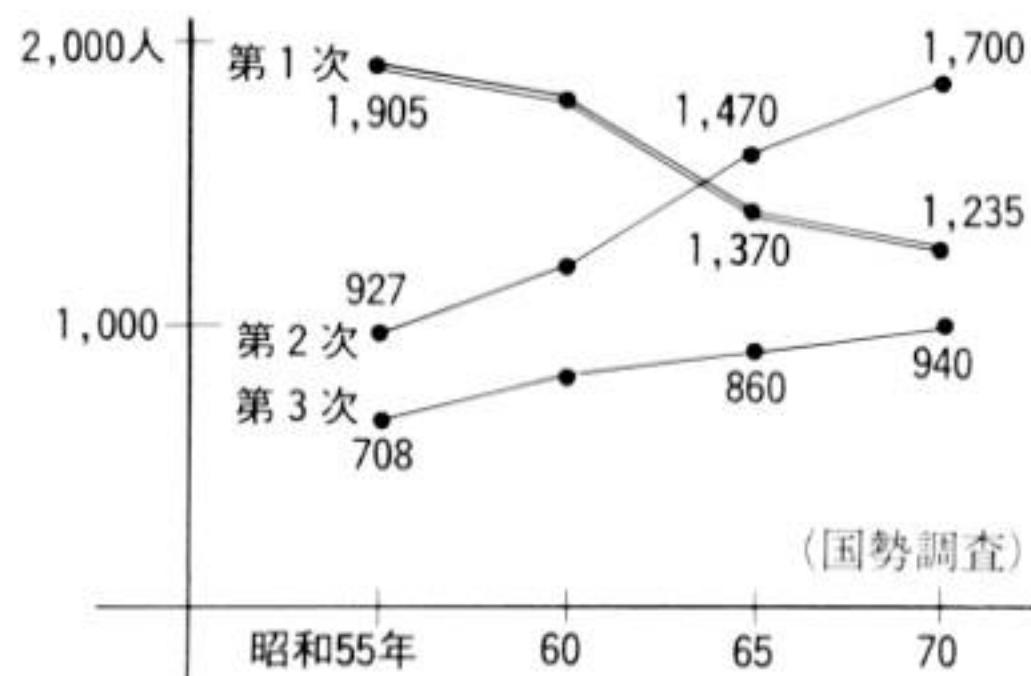
人 口

昭和30年に9,749人を数えた人口は、50年までに年率2.1%で減少しましたが、50年以降は年率0.7%で減少、現在は横ばいの状態です。今後は社会経済情勢、平均寿命の伸びなどからみて図のように予測されます。



産業人口構造

第1次産業の就業人口は、昭和45年から55年の10年間で36.1%も減少、今後も経営面の合理化、省力化などにより減少は続くものと考えられます。反面、工業化、都市化の進展に伴ない、第2、3次産業就業人口の大幅な増加が予測されます。



土 地 利 用

町土は将来ともに住民の産業を支える基盤であり、計画的な利用が必要とされます。

今後は、農地の整備、出羽丘陵開発事業による草地の造成などで、183haの農地が増えると予測されるほか、道路や宅地など環境整備に約100haの用地が必要とされ、そのために森林、原野合わせて約150haの減少が予測されています。

町 民 生 活

近年の厳しい農林業経済から、第2、3次産業への依存が大きくなっています。今後は第1次と第2、3次産業の組み合わせによる所得面、生活面での一層充実した生活が可能と考えられ、これに伴ない住居費や教養娯楽費、交際費等雑支出の増加が見込まれます。住宅についても、就業機会の拡大やコミュニティ活動の充実等に伴ない居住環境の整備が進められ、町営住宅の設置、山間部住宅の移転改築なども見込まれます。

特集・東由利町開発基本構想

10年後

- キャンプ場
- 自然公園・観光地としての整備



● 温泉

● 農林産物の加工場
(林木、山菜等も)

● スポーツセンター
(体育館・町民プール・陸上競技場・テニスコート)

● 民俗資料館

● 観光牧場

開発基本構想のあらまし

ここでは具体的な内容について紹介します。なお後日「東由利町開発基本構想ダイジェスト版」を作成し各戸に配布する予定ですが、同構想をもっと詳しく知りたい方には、本文をお見せしますので町役場企画係までご連絡ください。

人と自然が調和した誇れる町土の形成

恵まれた自然空間を最大限に活かしながら、地域社会の経済、文化活動を増進し、若者の定着を図るため主体的、選択的に地域産業開発に取り組み、所得の増大と生活の向上を図ります。

土地利用・町民の共有財産という認識で計画的にすすめます。

資源保全・緑の森林資源・水資源の保全、低利用地の開発利用や温泉開発に取り組みます。

自然環境・すぐれた自然景観の優先保護、地質や動植物の学術的調査、自然公園等の整備に取り組みます。

1、策定の目的

めまぐるしい社会経済の進展と共に、近年、行政に対する住民の要求は益々多様化し、複雑化、高度化して来ています。このため行財政運営も長期的総合的な視点による計画行政が必要とされています。

昭和47年に策定された町開発基本構想が実情にそぐわなくなってきたため、あらためて本町の位置づけや課題を明らかにした上で「うるおいと活力あふれる町づくり」を目標にした町勢発展の基本的方向づけを行うことを目的としています。

2、構想の性格

この開発基本構想は、長期的な見通しに立った新しい町づくりの方向を明らかにし、住民福祉の高揚、産業振興など町民や団体、地域、町・県・国が一体となって計画的に町づくりを推進するための指針としての役割を持つものです。

3、構成

東由利町の進むべき基本方向と、昭和70年度を目標とした将来像について述べ、すべての計画の頂点に位置し、これに基づいて目標水準を設定、施策の大綱を示しています。

町土保全・治山・治水・砂防事業を推進します。

交通・国道107号線の二次改良、県道6路線並びに町道など

交通ネットワークの改良整備、関係制度の存続強化に取り組みます。

通信・ニューメディアによる情報処理システムの研究確立や防災無線の充実を図ります。

農業・農協等関係団体・機関

と一体となり、生産基盤整備、先端技術の取り入れ、特産物の創出、市場・流通機構の確立、他産業との複合化、後継者育成、由利牛など畜産の振興、団地化に取り組みます。

林業・国産材時代に向けた良質材確保と供給基地化、林道整備、原木市場や特産品の創出、森林の多角活用、特用林産の振興などに



取り組みます。

水産業・コイ、イワナ、ヤマメ等の養殖奨励や釣り堀、遊漁などレジャー産業化を推進します。

工業・既存企業の拡大強化、積極的企業誘致による就労の場の

快適な環境の創造と心豊かな町民の育成

物的な豊かさと共に、人間関係、社会関係等、精神的な豊かさを受けられる安全な環境づくりと、教育学習基盤の整備や大衆文化活動の提供につとめ、自主性・創造性を重んじた個性豊かな青少年の育成を目的に、教育環境の整備充実、生涯教育の推進につとめます。

生活環境・集落排水施設、公園・広場、スポーツ・レク施設の整備をすすめる、明るく住みよい環境づくりを推進します。

住宅・快適さを追究した宅地、

確保、人口の定住化に取り組みます。

商業・商工会の育成強化、温泉開発、八塩山麓・大台高原等の計画的開発、イベントの創出、緑地空間など自然資源の積極的活用などに取り組みます。

住宅の確保、公営住宅の設置など居住環境の整備に取り組みます。

安全・交通安全施設・消防施設や体制の整備、地すべり防止や護岸等治山・治水対策、防災無線、冬季交通対策、雪害防止、消費者保護、防犯施設の整備、交通安全・防火思想の高揚、雪対策に取り組みます。

学校教育・小学校プール・グラウンド、中学校給食施設の整備充実と、高校の校風づくり推進、通学対策や教育環境の整備充実に取り組みます。

社会教育・責任感・自立性・思いやりに富んだ人間形成のため、学習の機会の拡充、図書館、資料館等施設の整備促進、コミュニティ形成による連帯感の醸成、青少年の健全育成に取り組みます。

健康・医療・予防検診活動、栄養改善、地域医療の充実、スポーツを含めた総合的健康増進対策等に取り組みます。

高齢者・社会参加機会の拡充、就労の場確保、ヘルパーによる在宅福祉の充実、特別養護老人ホーム等による施設福祉の充実などに取り組みます。



地域の特性を生かした
魅力と活力あふれる

町づくり

アート等施設の整備に取り組みます。
芸術文化・誰もが参加できる文化活動の場づくり、芸術文化協会の結成、郷土史の研究調査、文化財の発掘と保護・記録保存及び資料館等の整備に取り組みます。
余暇対策・労働環境の改善、緑地公園、余暇関連施設の整備に取り組みます。

充実感、生きがい感を始め、心のふれ合う個性的な町づくり、活力あふれる人づくり、魅力ある地域づくりを推進します。

未来社会・地域の発想を重視し
心のふれあいを主体に住民総参加で、個性、活力ある地域社会づくりに取り組み、若者に魅力ある未

来社会を築きます。

都市機能・生活利便性、防犯、
街路照明、雪対策など総合的な都
市機能の充実、快適な居住環境づ
くりに取り組みます。

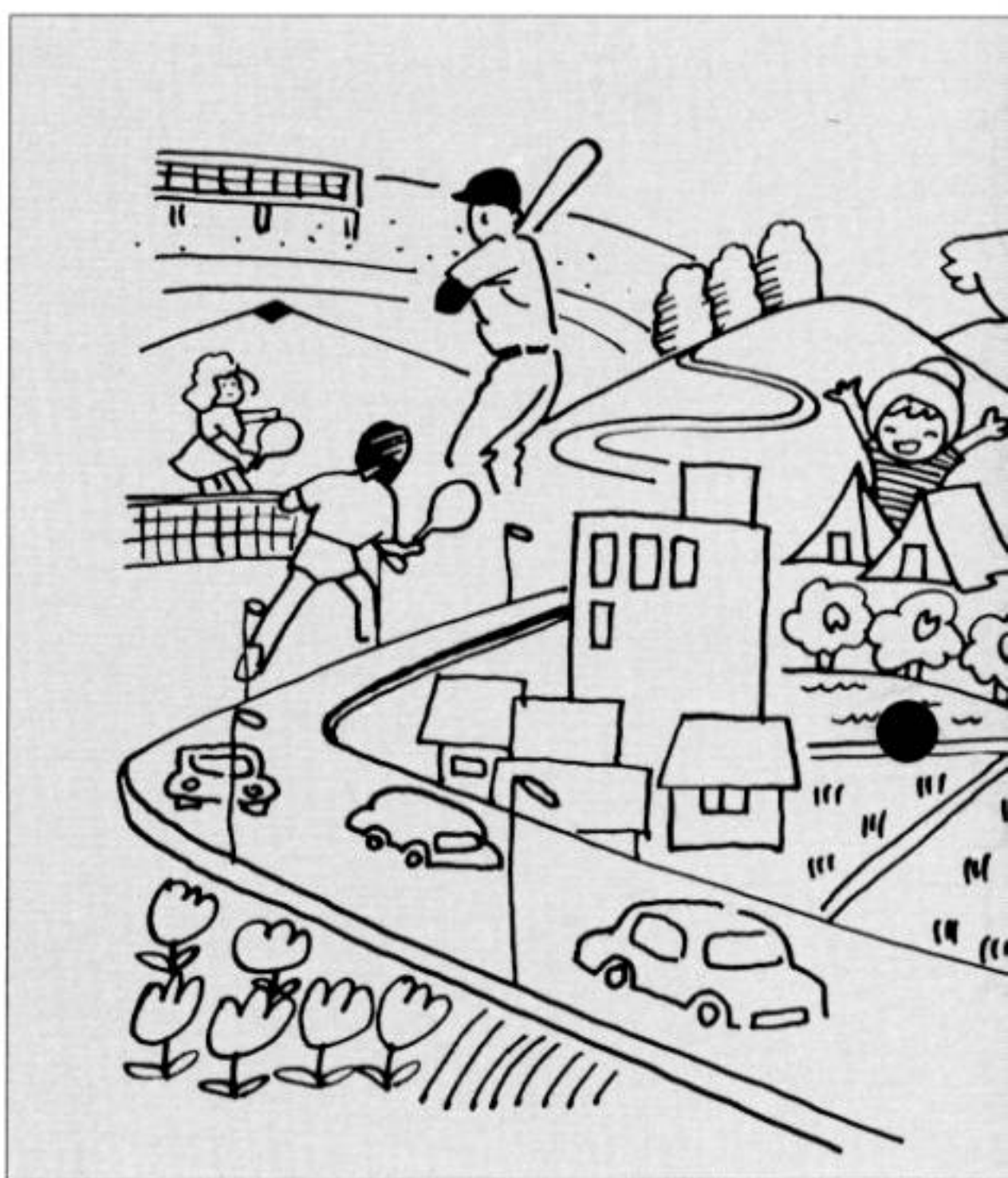
出かせぎ・解消を目標に、工業振興、農林業の振興発展策に取り組みます。

コミュニティ・住民の連帯意識の醸成、住民活動の推進、コミュニティ施設整備と住民主体運営などに取り組み、町民歌、動植物など、シンボルづくりをすすめます。

友好提携・自然、文化、産業等の面で共通点を持つ町村等と友好提携、姉妹提携等による相互発展策を試みます。

克雪・除雪機械や体制の充実強化、流雪溝、共同駐車場の整備、生活関連道の完全除雪などに取り組みます。

利雪・スキー場、関連スポーツ施設の充実、雪国文化の創造などに取り組みます。



* 推進体制は.....

新しい町づくりは、そこに住む住民の積極参加と熱意によってはじめて達成されます。そのため構想策定段階から町民代表に広く参加を願い、意見を出していただいておりますが、厳しい財政事情下にあるだけに、町民や各団体がそれぞれの役割を自覚し、責任をはたして行くことが大切です。

町では今後、広報、公聴活動を益々強化充実して、広く町民の参加を求めながら国・県、広域行政とともに一体となって、計画的に、うるおいと活力あふれる町づくりを進めます。

*

自治会長
会議

生の意見を町政に

生の意見を聞いて町政に反映し、住み良い町づくりを…と、毎年年度始めに開いている自治会長会議が4月24日有鄰館で行われました。

この日会議に先立ち、自治会長として長年自治会運営に尽くされた大琴自治会長の佐々木一郎さんと、円滑な納税の推進に努めてこられた、佐藤祐一さん（中通）及び、蔵、祝沢の納税貯蓄組合に、町長から表彰状と記念品が贈られました。

会議では、畠山町長が今年度の施策について概略を説明、住みよい町づくりのための各事業の推進に協力をお願いしました。

このあと町側からお知らせと、協力依頼事項について説明、次に各自治会から事前に寄せられていた町に対する要望事項について、担当課長が回答し、懇談会と意見交換に入りました。

建設関係に要望殺到

町に対する要望事項は19自治会から43件について出され、このうち35件は道路改良等建設関係の要望でした。町ではこれらについて現地調査や、県へ要望するなどして早急に対処することの回答をしましたが、六沢線や直道線など町

で対応することのむずかしい道路の改良については、町の補助金等を利用するなど、地元で対処してほしいことの回答を出しました。また、今後これら要望事項に対処していくためには地元の大きな協力が必要であることをつけ加えました。

懇談会意見交換では、自治会長として日ごろ考えていることなどの意見のほか、山火事防止や林道改良についての質問など5人から12件が出され、それぞれ十分な検討を加え対処していくことの回答を出しました。



自治会から意見や要望が寄せられた自治会長会議

自治会長功労表彰



佐々木一郎さん

納税優良表彰



佐藤祐一さん

- ・蔵納税貯蓄組合
- ・祝沢納税貯蓄組合

袖山・大吹川間
土砂崩れが発生8月上旬まで
車両通行止め

4月6日の夕方から7日朝にかけて、町道袖山線の袖山・大吹川間で土砂崩れが発生、道路わき長さ27m、高さ2.7mの土砂が、20年生の杉30本とともに崩れ落ち、道路全面をふさぎました。町では通報と同時にブルドーザーを搬入、除去作業を行った結果7日午後6時に復旧しました。

現場付近は地すべりの危険地帯で、56年にも大きな土砂

大平
スキー場

利用客大幅にダウン

大平スキー場運営委員会が4月10日に開かれ、今シーズンにおけるスキー場の運営経過、収支決算の報告及び反省や今後の課題について話し合いを行いました。

これによると、今シーズン大平スキー場利用客は前年度の54割、約1万7千人となっています。収支決算では総体で約390万円の黒字が見込まれていますが、前年度繰越



崩れが発生、今回土砂が崩れたのは、雪解け水で地盤がゆるんでいたためとみられています。なお同線は、崩れた斜面の修復作業のため現在車両通行止めとなっており、大吹川・須郷方面へは石高か土場沢を経由しなければならなくなっています。町建設課では、車両が通行できるのは8月上旬とみています。

土砂がくずれ、道路全面がふさがれた袖山・大吹川間（47）

分を引くと実質で約60万円のマイナス決算が見込まれています。

同委員会では、利用客が減ったのは各地でのスキー場オープンが要因であるとし、利用客の増を図るために今後、ナイターの工夫、整備を課題としました。

なお、町スキークラブが運営した食堂部の収支決算では、同クラブの経営努力により約30万円の黒字が見込まれています。

宿工区改良が本格化

県が用地確保に協力を要請

国道
107号
整備



県が示した改良計画図面に見入る用地関係者

国道107号線宿工区改良事業説明会が4月23日大蔵館で行われ、町・県・用地等関係者ら50人余りが出席、県が示した改良計画に基づき質問や意見が交わされるなど、宿工区の改良が本格的な準備体制

に入りました。本町を走る国道107号線は、これまで板戸工区、館合バイパス、老方バイパス、蔵工区の大規模な改良工事が行われてきましたが、未改良部分も多く、町では国・県に対し早期改良を強く要望、昨年宿工区の設定が決まり、今年度から事業を進めることになったものです。

同工区で予定されている区間は、蔵バイパス終点(横渡)から宿バス停(根城)の約1.5kmで、幅員は12m。総工事費には約4億円が見込まれており、今年度分としては調査費、用地買収など約3千万円が予定され、この日県では用地等関係者に対して用地買収の協力を要請しました。

今後、用地買収などが順調に行われると、来年度から工事を開始、昭和63年度には完成するものと、県ではみています。

小松館長勇退

新館長には
町教委青木主幹が

昭和58年4月から町公民館長として社会教育活動に手腕を発揮されてきた小松忠正さんが任期満了に伴ない3月31日をもって退任されました。

後任には町教育委員会主幹の青木和雄さんが、同教育委員会社会教育係長を兼ねて就任、これまでの経験を生かした活躍が期待されています。

青少年教育指導員を設置 石渡力造さんを選任

町教育委員会では社会教育活動のより一層の充実のため、青少年教育指導員を設置、同指導員に、石渡力造さん(蔵新田・54歳)を選任しました。

石渡さんは昭和57年(59年)に社会教育指導員として活躍しているほか町公民館蔵分館の分館長として10年の経験をもつ社会教育の大ベテラ

ン。今後、豊富な経験を生かした活躍が期待されます。

小松局長が退職

老方
郵便局
新局長に
小野厚さん

玉来郵便局に昭和30年から勤務(37年に同局長)、昭和49年からは老方郵便局長として奉職されてきた小松昌樹さん(八日町)が、3月31日で定年退職されました。後任には小野厚さん(寺田)が就任されました。

実践しながらの大火防止訓練

蔵地区を現場に



けが人の救助訓練も……

出稼ぎの反省や就労状況について話し合う

出稼ぎグループリーダー研修

出稼ぎグループリーダー打ち合わせ会が4月30日有鄰館で行われ、今期出稼就労の反省や就労状況についての情報交換等を行いました。

出稼相談員を

「ご活用ください」

稼ぎに出ている、須郷田の小野久亮さん(10年勤続)と家の下の遠藤常雄さん(3年勤続)に、先ごろ千葉県公共職業安定所等から表彰状が贈られました。これは、季節労働者として責任感をもって仕事に励み、勤務成績が他の従業員の模範であるとして贈られたものです。

「蔵が火事だ! 林野に飛び火した」。この想定のもとに4月28日の午後、消防団員ら300人と、ポンプ車など21台が出動し、実践しながらの「大火防止訓練」が行われました。

消火訓練はおよそ1時間にわたって行われ、そのあと大蔵館から旧蔵小跡まで分列行進を行いました。閉会式では畠山町長が「町民の心がけのおかげで、無火災記録が伸びている。今後も火事をおこさないよう防火の啓もうと、十分な注意をお願いする」とあいさつ、訓練を終えました。

この日はグループリーダー等50人が参加、グループ全員が就労前の健康診断をうけ、就労期間中全員が無事故、無病であった、リズム自動車(静岡県・8人就業)のリーダー遠藤君男さん(館西)に町長から賞状と金一封が贈られました。

小松さんと遠藤さんが
千葉職業安定所等から
表彰

町では出稼者援護対策事業のひとつとして出稼相談員を設置し、出稼者や留守家族に対する相談活動を行っています。今年度も次の方々を出稼相談員にお願いしましたのでご活用ください。(敬称略)

- 三浦彦次(田代) 69・3621
- 遠藤聚一(宿) 69・3469
- 遠藤莊二郎(小倉) 69・3329

千葉県の鬼怒川ゴム株に出



4月21日早朝一各自治会のみなさんは袋を片手に、他人の捨てたゴミを一つ一つ拾って歩きました。

かえ来

全町一斉
道路清掃

なんと大型トラック
6台分のゴミ拾う

あなたは車の窓からゴミを捨てたことがありますか？
4月21日に行われた全町一斉道路清掃で、なんと大型トラック6台分のゴミが拾われました。これは本町でゴミ処理センターに出す1日当りのゴミの、5倍にもあ

ります。
拾われたゴミの大半は空き缶や空ビンでした。たぶん車の窓から投げ捨てられたものがほとんどと思われます。これらは町外の通りすがりのドライバーによるものも多

ぜ
捨てる！
道路はゴミ捨て場
ではありません



心ない人たちによって捨てられた
空き缶。なぜ捨てるのか、疑問が
残ります。

* * *



なかにはこんなゴミ？も。こうし
たゴミは、粗大ゴミの指定日に
出せば、処理されるのに……。



自立する
消費者を
目指して

5月13日は「消費者の日」

新たな型のトラブルが増える

最近の消費者問題は、新しい
サービスの出現、一段と進む
あらゆる分野での情報化など、
社会環境の変化を反映して、消
費者が十分に対応できないため
に生じる新しい型のトラブルが
増えています。

消費者のニーズの多様化から
いろいろな販売方法が生まれた

「クレジットの借り過ぎから
家計に破たんをきたした」

「うまいもうけ話にひっかか
って、大損をした」

最近クレジットや訪問販売
など、販売方法や契約にからむ
トラブルが増加しています。

一方、ショッピングをはじめ
銀行などでは、ニュー・メデイ
アを使った新しいサービスも全
国的な規模で広がっています。

また、消費者のニーズ（要求、
望んでいるもの）の多様化をは
じめ、女性の社会進出や高齢者
層が増えたことに伴い、例えば
ペビー・ホテル、ホーム・ヘル
パー、物業宅配業、有料老人ホ
ームなど新しい種類のサービス

空き缶は“ゴミ” それとも“資源”

心がけしだいどちらにもなります

「持ち運びに便利だから」「自動販売機などから手軽に買えるから」などの理由で、ジュースやビールなどの缶入り飲料が大モテです。1年間に飲まれる数は、何と10億個。10数年前に比べて、約10倍に膨れ上がった計算です。確かに、手軽で、丈夫で、保存のきく缶入り飲料は、消費者にとって大きな魅力。しかしその一方で、投げ捨てられた空き缶が、日本の自然や町並みを汚しています。環境庁が調べた「空き缶の投げ捨て理由」を見てみると、近くにゴミ箱がなかったから(43%)、

空き缶を捨てたことのあるあなたへ――

自動車に乗っていて始末に困ったから(14・6%)、ゴミ箱や家まで持ち運びが面倒だったから(11・9%)などが多く挙げられています。

このような理由で投げ捨てられた空き缶は、地域の住民やボランティアの人たちの手によって一つ一つ拾われます。拾われた空き缶は、環境庁の調査で分かっているものだけで、1年間に4億4千万個、実際はこれよりはるかに多い数字になるはず。しかし、いくら拾っても、次から次へと捨てていく人が後を断たず、どうにもならない、といった声も強くなっています。

空き缶を投げ捨てた経験のあるあなた、道路や公園はゴミ捨て場ではありません。あなたの捨てた

空き缶は“輸入品”？

空き缶が、だれかの手を煩わす。この言葉をもう一度かみしめてみてはいかがですか。

新鮮な空気と“緑”を求めて、山にきています。あなたは乾いた“のど”を潤そうと、缶ジュースを一気に飲み干しました。片手には空き缶、周りを見渡してもゴミ箱はありません。さて、あなたはその空き缶をどうしますか。その場に捨ててしまう？それともゴミ箱のある所まで持ち帰る？

空き缶が単なるゴミとなるか、あるいは資源として再利用されるかは、あなたの選択によって決まります。



この日は集落内の側溝上げ(新町)や、河川の清掃(須郷田)も行われ、ビニールや紙くずなどの燃えるゴミは、自分たちで処理しました。



ゴミの山。実は、このゴミは玉米青年会が、館合バイパスから板戸間の道路沿いで拾ったもので、小型ダンプで2台分もありました。



消費者の計画的・合理的な考えがトラブルを防ぐ

このようなトラブルを回避し被害を防ぐには、わたしたち消費者自身がより計画的・合理的な生活設計を考え、情報化の“波”に足をとられない自主的な生活態度を身につけることが大切です。

空き缶の原料となるのは鉄とアルミ。言うまでもなく、海外から輸入している“貴重な資源”です。回収されたアルミ缶は、再びアルミ缶となつてみなさんの前に姿を現します。この場合にかかる電力は、原料から新しく製品化する際の27分の1で済むといわれます。一方、スチール(鉄)缶は、電炉工場で鉄筋や鉄板となつて、ビルや船に新しく生まれ変わります。このように空き缶は貴重な資源――うまく再生利用すれば、資源やエネルギーを大幅に節約できるので。

ゴミにするもしないもあなた次第――。「使い捨て」という言葉にまどわされることなく、空き缶は必ず決められた場所に捨てるようにしましょう。

ま ち の 話 題

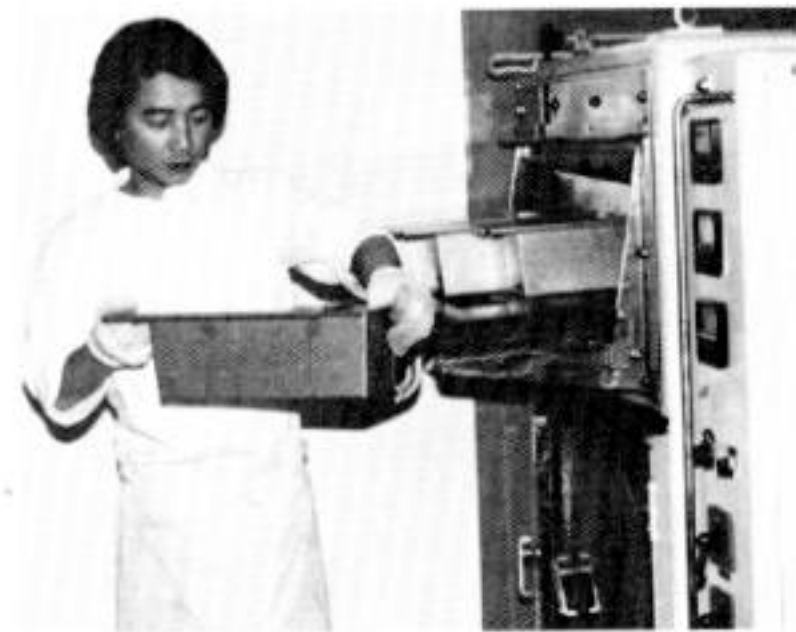
『パンがおいしくなった』

学校給食用パンが地元調達に

町内小学校給食用パンはこれまで町外から仕入れられていました。しかし先月9日からは地元の遠藤直さん(上通)経営の「松月堂」で作られています。

これまでは町外業者という距離的な面から、前日に作られたものを食べざるを得ませんでした。が、いまでは当日に作られた焼きたてのパンを食べることができ、子どもたちは「パンがおいしくなった」と大喜びです。

地元でできるものは地元で……こうしたことはまだありそうですね。



午前7時ごろにはおいしそうなパンが焼き上がる(松月堂)

交通安全の熱意が生んだ
ボランティア 宮の前青年部の
のぼりを設置

春の交通安全運動初の先月6日、宮の前青年部の若者で組織する宮の前青年部(大日向新一代表)では、



のぼりを立てる宮の前の青年たち

交通事故防止にと、通学路でもある島ノ高瀬小間に、交通安全ののぼり20本を設置しました。のぼりは同青年部の名入りで全部自前。地域の若者の熱意あるボランティアによって立てられたのぼりは、同期間中、通学する子どもたちを見守っているかのようにした。

町民いこの森で「黄桜まつり」開催

町観光協会と町商工会
青年部・婦人部

町観光協会と町商工会青年部・婦人部では、町民いこの森の桜の満開が予想される5月11日(土)、12日(日)に、同じいこの森に咲く黄色い桜を名物

にした「黄桜まつり」を開催することになっています。当日のイベントは、由利牛のバーベキュー、ヤマメを食べてみませんか、モデル撮影会などで、このほかベニヤマ桜の記念植樹も行われます。ぜひ参加してみてくださいが、いかがですか。



「黄桜まつり」が開催される町民いこの森(八塩ダム)

家族に好かれ、楽しい老後をめざして

老人クラブに
婦人部発足

「家族や社会と笑顔で接し、感謝の気持ちを持たないよう心がけます」など、7つの目標を掲げ、このほど町老人クラブ連合会に婦人部(畑山マサエ部長・部員91人)が発足しました。同婦人部では、老後を楽しみ、しかも家族にも好かれるお年寄りになるために、今後さまざまな勉強



町老人クラブ 婦人部の総会(4月11日・朋楽荘)

会などを行っていくということです。

藤原さんと
小松さんに
県警本部長から
表彰状

本荘地区少年保護育成委員会の総会が、4月17日ホテルアイリス(本荘市)で行われ、席上同委員会東由利支部委員の藤原陽太郎さん(上通)と小松久隆さん(宇戸坂)に秋田県警察本部長から表彰状が贈られました。藤原さんと小松さんは昭和50年に委員に選任されて以来、本町の青少年健全育成につくされてきたことが認められたものです。

東中 出品した
全作品が入賞
第11回県小・中学校
工作・工芸作品展

第11回秋田県小・中学校工作・工芸作品展が3月2日から5日に行われ、本町東由利中学校から出品された15点のうち、2点が推賞に、残る13点全部が入選という好成績をおさめました。

出品したものは、文鎮や小物入れなどで、入賞者は次のとおりです。(学年は入賞時のもの・敬称略)

【推賞】渡辺浩二(3年)
阿部香代子(同)

【入選】小松雅裕(3年)
小松久輝(同) 鎌田宏彰(同)
大場惣晃(同) 阿部 司(同)

まちの話題

留学先で博士号取得

蔵出身の柴田義孝さん



柴田さん

本町蔵出身の柴田義孝さん（イネヨさん三男34歳）が、留学中のアメリカカリフォルニア大学

ロサンゼルス校で、工学の中でも特殊で難しいとされている「計算機工学博士号」を取得しました。計算機工学とは、コンピュータの中でもレベルの高い分野での応用や、新技術の創造を行うもので、博士号を取得するまでには、かなりの努力と厳しい選考基準があるとされています。しかも、この取得が在学中のものだけに、関係者が

ら高い評価を得ています。柴田さんは昭和44年に県立秋田工業高校電気科を卒業し、上智大学（東京）に入学、工学と併せて語学に励みました。大学卒業後は一度企業へ就職、その後留学を決定し、現在に至っているものです。先月3年ぶりに帰郷した柴田さんは役場を訪れ、留学終了後は、母校の上智大学で研究を続けたいと話していました。

政清人和

町民の声を町政に



「政清人和」（まづりごときよければ、ひとなどやかなり）これは佐々木県知事が私にわざわざ為書をつけて贈ってくださいった掲額揮毫です。

町民とともに歩む町政をモットーとしている私にとって、当を得たそのものズバリの訓（おしえ）であり、「町民とともに、和やかにそしてきれいな政治を……」という知事さんの私に対する期待と励ましのことばと解釈しております。町政をあずかる間これを座右の銘として大切に、町政発展のために取り組んでまいり所存です。

町民の方々にも是非お見せしたいと思っておりますので、役場にお出の節は町長室にお立寄りいただきたく存じます。

さて、このごろ感じたことのひとつとして、町民の声について思うことがあります。それは例えば、

声が大きいから町内の世論であると決めつけたり、町民の真の声であると考えるのは早計だということとです。たとえばその声が小さな声であっても、声にならなくても、それが町民の中の大方の考えである場合が多くあることを知りまして、小さな声や声にならない声をくみとり、聞きわけることの大切さをつくづく感じていられるところです。

大きな声が真の声であれば、それはそれなりに大事にしなければならぬのですが、それがただ大きく見えるみせかけの声だったり、いわゆるためにする声、作られた声であるかないか、その聞きわけこそ大切であると思えます。

町民の声を町政に、この考えのもとに、58年11月から毎月1回「町長面会日」を設けてまいりましたが、面会日には必ず誰かが訪れてくれ、ありがたく思っております。

めざそう= ゼロ

交通死亡事故0 2,000日

—12月6日で達成—

違法通行車両を発見したら、車のナンバー、発見場所、時間を警察署 ☎69-2132・2205・2139 または 110番へ！

東由利町交通安全対策協議会・東由利町交通安全協会・東由利町交通安全母の会

山菜取りは無理をしないで！

今年も楽しい山菜取りのシーズンがやってきました。

山菜取りを楽しみむ人も年々多くなっていますが、遭難事故もあとを絶ちません。

昨年は県内で1人が死亡、3人が重傷を負っています。事故なく山菜取りを楽しむために、次のことを守り、無理しないようにしましょう。

- 出発前に天候をよくたしかめる。
- 目的の山をはっきりきめる。
- 山の中では絶対に無理をしない。
- クマに注意する。

万一遭難したときは、あせらないで、冷静に方角を見定め、なるべく体力を消耗させないよう動くことが大切です。

健やかに育て子供たち



●児童福祉週間5月5日～11日

下郷分校異動

阿部 恵(3年)工藤昭仁(同) 佐々木善政(同)佐藤義宏(2年) 長谷山直人(同)小野弘通(同)

大沢 太 講師

貝田 裕昭

根 義鎮



みんなのひろば

町民謡同好会の会長を務め、頃はもろろん三味線も引きこなし、町民謡振興の一躍を担っているこの人、遠藤真吉さん。

円満な性格にもう一つの顔

遠藤真吉さん
新処・55歳



ほかに遠藤さんの持つ特技は多く、中でも結婚式の座配人としての名は広く知られ、29歳からこれまでに取ったカップルの数は実に300組を越えるといわれています。遠藤さんの本業は農業で、現在1・3畝の田畑を耕やし、地域の人たちで組織している「法内集落農

場組合」では役員を務め、地域発展のための第一線者としてがんばっています。円満な性格が人に好かれ信頼されている遠藤さんのもう一つの顔は民生委員を務めていることです。生活様式が大きく変わり、いろいろな悩みを抱え苦労されている方が増えている今日、遠藤さんは、このように困っている方々の相談活動を行い、保護を要する方々にしては、町及び福祉事務所と連絡をとりながら指導を行うなど、社会奉仕の精神をもって、地域の社会福祉増進のためがんばっています。(なお、町には厚生大臣から任命された民生委員25人が同じ活動をしています。)



嶽石アヤ子さん
山崎

怒りを感じる訪問販売

暮らしの中には知らない危険なことがいっぱいあります。その中でも近ごろ問題になっている訪問販売は年々悪質になり、私もかつてだまされた経験もあることから、言葉を聞くだけでも何とも言いがたい憤りを感じます。

訪問販売はすべてが悪質なものとはかぎらないと思いますが、ものために確かな情報や知識を身につけておく必要があることを痛感しているものです。新聞やテレビからの情報はもちろんのこと、地域の人たちの情報交換なども大切なことではないかと思っています。そして、いろいろなものはハッキリと「いいえ」と言う態度を見せることも大事なことだと思います。

私の赤ちゃん ⑩



亮介ちゃん 新町
59・7・16生まれ
吉一さんと薫さんの長男

亮介という名前は、おじいちゃんから分けてもらいました。もうすぐ10か月になり、かわいい盛りですがまだ這うことができないので心配しています。でも生まれてから、まだかぜもひいたことのない健康な子です。

早く歩けるようになって、じょうぶで元気な子どもに育ってほしいと願っています。——お母さん



紹介者
長谷山希美子さん



人気もの
佐藤美華さん
高瀬小・6年



紹介者
佐藤隆美くん

人気もの
三浦雅弘くん
八塩小・6年

何でもできて、がんばりやの雅弘くんは全校のみんなに人気があります。頭がよく、児童会長もしています。とってもやさしいです。

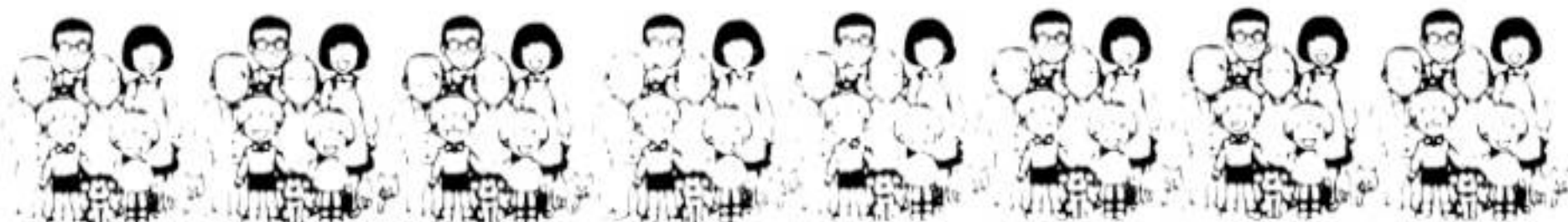
はなしのじょうずな、とってもおもしろいひとです。へんな顔をして友だちを笑わせたりします。クラスでは副委員長をしています。

町内小学校6年生のクラスの人気ものを、仲の良いお友だちから紹介していただきました。



町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康なくらし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心



高校生 の 企業 訪 内

No. 2



由利アパレル(株)

- 下郷分校 3年
- ・佐藤真由美
- ・小野かずえ
- ・大日向文子

由利アパレル株式会社



右から渡辺工場長、佐藤さん、小野さん、大日向さん

昭和56年に操業を始めた由利アパレルには現在男子12名、女子63名の計75名の従業員が働いています。平均年齢33歳、みなさん生き生きと仕事をしているのが印象的でした。この会社で作っているものは、作業服・カジュアルパンツ・ブルゾンなどのファッション衣類で、一日に上着、ズボン合わせて約1,000枚が生産されています。資本金は2,500万円で、月間生産高は約1,500万円だそうです。訪問する前までは気楽な仕事だと思いましたが、作業のよ

うすを見てとても根気のいる仕事だと思いました。そんな中でも、月間の不良品がわずか一ケタということには感心させられました。この会社のモットーは「楽しく働ける」ということで、そのために有線放送を流し、電話でリクエストできるような工夫されています。問題点として大きなものは、学校行事がまちまちで休む人にバラツキがあり生産に影響がでることだそうです。今後、規模を拡大し従業員を2倍にしたいということでした。従業員のみなさん頑張ってください。



東田利の文芸

ゆりかご句会

三月句会

蛙塗って水に声あり夕棚田 孤舟	蛙塗りに歳月のあり歎きばき 秀月	蛙塗った静かに落す棚田水 澄子	塗り上げし蛙に年期の隠れなき 北飯子	蛙塗りを終えて安堵の捨煙草 貞子	三代が塗りしこの蛙まがりけり 鉄牛	蛙塗りの昼餉に近し鉄光る 一柿
就職の主なき部屋にチュウリップ 一柿	チュウリップ赤を大きく写生の子 澄子	チュウリップ垣根越しにて賞めてゆく トミ	チュウリップ赤し黒き蝶来たる 女沙	チュウリップ祖母の丹精落伍なし 掬水	チュウリップ花を愛する子の蝶 芳翠	チュウリップカーテンの白染まるごと 亮子

人気もの
畠山好宏くん
大琴小・6年



紹介者
小野春喜くん

明るくて、みんなのめんどろをみてくれるひとです。いたずらじょうずで、友人がよくひっかけられています。
野球部ではキャプテンをしています。

公民館 と 案内

▼ブルーナのどうぶつだいすき
▼かぜひいちゃった▼おかあさん
▼つよんでいい▼かんころもちの島
▼あかりの花▼おかしな金曜日
▼雪虫の飛ぶ日▼サーカス物語
▼黄金の七つの都市▼ピカソ君の探偵帳▼TN君の伝記▼果てなき旅上下▼イシ▼モモ▼少年動物誌
▼生命とは何か▼学校ってなんだ
ろう▼数は生きている▼地図のけんきゅう▼おりがみ動物▼天璋院篤姫上下▼風の戯れ▼母親と日本人▼脱獄王白鳥由栄の証言▼十代に何を食ったか▼えほん育児学のすすめ▼昭和史の天皇▼ふとることやせること▼大相撲の事典▼続生涯教育論▼定住の構図

* 公民館では約6千冊の本を準備し、みなさんの利用をお待ちしています。



みんなのひろば

ヤングレポート

⑫



Uターン青年が増えています。このひと俊恵さんもその一人で、3月に秋田市から帰って来ました。新処の工藤俊雄さんの二女で、前に勤めていた病院の経験をかき、現在小松医院（館合）で働いています。

工藤俊恵さん
新処・21歳
39・3・1生まれ

取材には明るく応えてくれ、笑顔が印象的でした。

Uターンには理由がありますか……特別ありませんが、この町が好きだし、この町に嫁ぐ気持ちですから…

町にどんなことを望みますか……若者の集いの場をどんどん設けてほしい…そこで婿さんを見つけない…結婚はいつごろ？どんな人と……23か24歳ぐらいで、優しく心の広い人と…風間杜男さんみたいな……

ネチネチしたことがいちばん嫌いだという俊恵さん、趣味はレコード鑑賞とか…。小松医院に行ったときは声をかけてください。きっと笑顔がみられますよ…。



⑪

春耕田に水が廻り、やがて植えられた早苗の緑が目にそよめ、その色を濃くしてゆく…郷里はいま活気ある季節を迎えつつあることと思います。

毎月送っていただく広報「ひがしゆり」を、一家で懐しく読ませていただいております。ことに4年前、雪との闘いに疲れ、私のところに身を寄せた老父母は、この広報誌を老眼鏡をかけて、隅から隅までくり返しくり返し読み、豊作の報に安堵し、

新工場誘致のニュースに喜び、知人の訃報に悲しんでいます。

その父母が昨年金婚式を迎え、今年は父が喜寿、母が古稀を迎えました。これだけめでたいことが重なれば、いくらかのぐさな息子でも張り切りざるを得ません。3人の兄弟に因っていろいろ趣向をこらしたのですが、父の「派手なことはいい。それより4人の子ど



阿部 功さん（写真右下）
（横渡出身・43歳）
埼玉県庄和町来島820-98

もと、その家族が一人残らず集まって楽しいひとときを過ごせばそれで十分」という一言で、結局花見のころに上野の山の隅に小座敷を借りて、ささやかな宴を張ることになったのです。正月にやろうという話が花見のころに延びたのは、昨秋胃を患って半月ばかり入院した姉もそのころには、すっかり回復しているだろうからという母の思いやりからでした。

当日は父母の希望通り16人の家族が全部集まりました。写真はその宴の折のものです。広報「ひがしゆり」に「金婚さんいらっしやい」というコラムが出来たことを知り、こんな愛読者もいるということをお知らせしたく筆をとりました。郷里の益々のご発展をお祈り申し上げます。

元気ですか
保健婦です

⑩

去る4月22日に有鄰館で愛育会総会が開かれ、新年度の活動目標や計画が審議されました。その活動目標の第1に出てくるのが「母乳育児」の推進です。

赤ちゃんに大切な「母乳」

勤めるお母さんが急激に増えたことや、人工ミルクが容易に手に入ることなど、母乳育児を阻む要因は数多くありますし、むしろこの町ではおばあちゃんまかせの育児が目立ち、母乳にかぎらず、育児面での問題は多くなる一方です。母乳の素晴らしさは今さら申すまでもなく、生まれてくる赤ちゃんに最も適した栄養であるとともに、より良い母子関係の確立に役立つのです。また、少くとも、心配なく母乳であれば与えられます。

（保健婦・小松友子）

情報っハナ

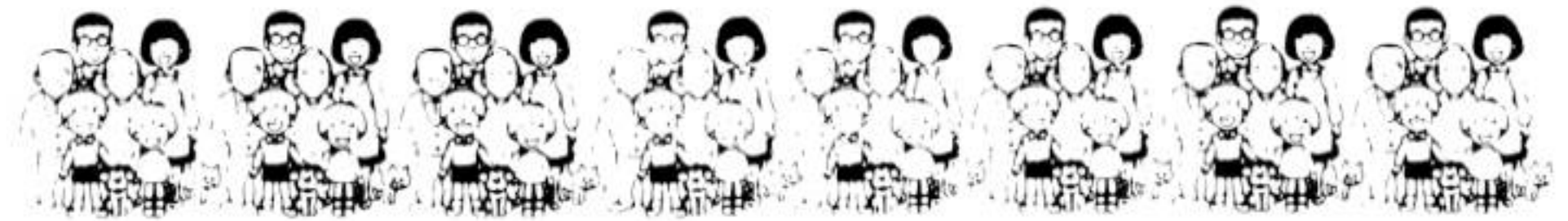
県立都市公園の有料施設オープン

県立小泉湯公園（秋田市金足）が4月1日から、県立中央公園（河辺郡雄和町）が4月27日からオープンしました。ご家族連

れや、グループの散策・ピクニック・スポーツ、職場や学校の運動会などにも利用できます。利用案内、問い合わせは、秋田86-4141（秋田県都市公園事務所）か73-5272（同小泉湯出張所）へ。

さわやか君

西村 宗



小笠原さんご夫妻とひ孫の裕樹ちゃん

小笠原 喜一郎さん

明治41年3月28日生・77歳

セツさん

明治41年12月11日生・76歳

蔵新田・結婚歴59年

金婚さん
じかしゆり

係では金婚さんをさがしています。
ご近所におりましたらご紹介ください。

2人の家は隣合わせで、幼なじみの仲での結婚だったそうです。小さいころから読書が好きだったという喜一郎さんは新聞や雑誌を毎日欠かさず読むほか、古文書を解読するのが唯一の楽しみとか。妻のセツさんは7人の子どもを育てあげたあとは、孫やひ孫の子守を仕事としてきました。「つらいこともありましたが、おじいさんの思いやりに支えられて…」の言葉に、ほのぼのとした夫婦愛が感じられました。毎晩1合の晩酌が健康法という喜一郎さんご夫妻。いつまでも元気で長生きしてください。

ジヨギング教室へ
参加しませんか

期 日 5月12日(日)
時 間 午前6時から7時
場 所 台山周辺

小雨は決行します。小学生からお年寄りまで多数ご参加ください。詳しくは町公民館まで。

危険物取扱者試験
準備講習会

期 日 乙種 6月26、27日
丙種 7月3、4日

会 場 秋田市文化会館

5月27日から6月1日に受付をしますので分署(69-2214)に連絡してください。

防火管理者
資格取得講習会

日 時 5月22、23日午前8時
30分から午後5時
会 場 鶴舞会館(本荘市)

申し込みは、3千円を添え、消防本部(本荘市)予防課へ。

行政への苦情・相談
受け賜わります

行政に対する苦情、相談がありましたら行政相談員にご連絡ください。本町の行政相談員は、阿部寅静さん(蔵・69-3114)です。気軽に相談ください。

春の行政相談週間

*ありがとう

▼本町上里出身の畠山エル子さん(本荘市御門町)より、広報送付の謝礼として高瀬小学校へ雑きん120枚が▼矢島信用金庫東由利

支店より、みどり・永慶両保育園園児に交通安全の腕章が▼石高の小松幸男さん、大琴の梅津二三雄さんから香典返しとして金一封が町社会福祉協議会に、それぞれ届けられました。ありがとうございました。

今月の催し

- 3日・八塩小、高瀬小運動会
- 10日・乳児検診
- 11日・町交通安全協会総会(朋楽荘・2時から)
- 11日・妊婦健康相談
- 13日・町連合PTA総会(公民館)
- 15日・ツベルクリン反応(乳幼児)
- 17日・BCG予防接種(乳幼児)
- 22日・小・中連合運動会
- 22日・ツベルクリン反応(小1・中1)
- 28日・3か月児クリニック(保健所)
- 29日・3種混合ワクチン
- 29日・農業委員会
- 30日・狂犬病予防接種
- 30日・リハビリ学級

* 臨時議会を上旬に予定。 *

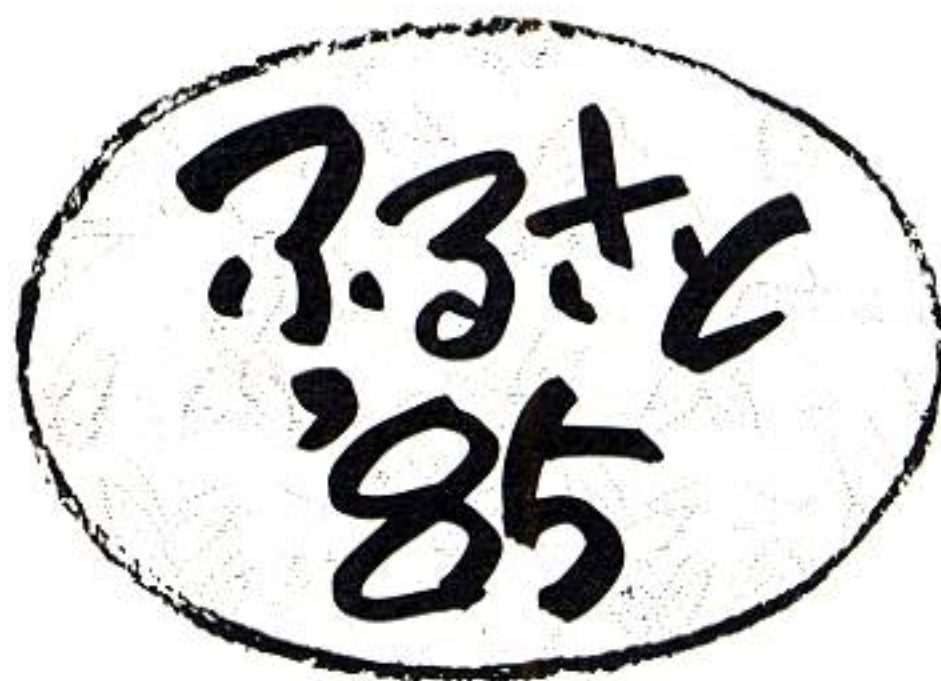


大火があったころの大琴 96戸の民家が一瞬にして焼失



東由利の今昔物語

昭和29年5月29日に発生した大琴の大火は、異常乾燥と水不足という悪条件下、一瞬にして96戸の民家を焼失、その惨状は当時を知る人に今も生々しく思いおこされています。写真(上)は、県から焼け跡の視察に訪れたときのものです、救援物資などもたくさん届けられました。その後、地域の人々の必死な復興の努力が、今日の大琴を築き発展させています(写真左)。無火災記録を更新中のいま、この大火の歴史を認識し、防火意識を一層高めたいものです。



郷土の野草

今号から「郷土の野草」と題し、ふるさとの野山にみることのできる野草を、前公民館長小松忠正さんから紹介していただきます。

カタクリ(ユリ科)

残雪のある日当りのよい山肌を、赤紫色の可憐な花が、濃い緑とすい茶のまだらな葉から長い茎を伸ばし陽春を謳歌するように咲きはこる。「片栗」という名は、球根

(鱗茎)がクリの実を半分にしたような形であることからつけられた名である。この球根から「片栗粉」をつくる。また若い全草は春の味覚として食用にする。



戸籍の窓口

(3/21 ~ 4/20 届出・敬称略)

うぶ声



おくやみ



遠藤 学(学長) 辰雄・長男 野田 薫(名) 昇・長女 石高

小松久美子(18 幸男・長女) 石高 遠藤五之助(83 繁・父) 家ノ下

町の二統計 4月(3/1 ~ 3/31)

●人口()内は前月と比較	()内は1月からの累計
・男 3,055人 (△12)	●出生 6人 (19)
・女 3,127人 (△12)	●死亡 3人 (11)
・計 6,182人 (△24)	●結婚 0組 (3)
●世帯数 1,418世帯 (△7)	●離婚 1組 (1)
●ゴミ処理量.....	30t (120)
●無火災継続日数.....	549日
●救急車出動回数.....	6件 (21)
●交通事故.....	0件 (0)
●交通死亡事故「0」継続日数.....	1,750日
●総合開発センター「有隣館」利用者数	1,311人 (3,475)
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数	283人 (787)

町民の声を町政に!

町長の面会日今月は18日

小さな火「まさか」がおこす山の火事
山菜取りのシーズンです。タバコの始末には十分注意しましょう。



山火事防止
シンボルマーク